

平成29年度補助金対象新設機器の紹介

広島市の中小企業が抱えている技術的な課題に対応する機器・検査用機器の整備を図るため、(公財) JKA からの補助をうけて下記の機器を導入しました。

ご利用方法など、各機器の詳細については当センターまでお気軽にお問い合わせください。

ビッカース硬度計

ビッカース硬さを測定するための装置です。鉄鋼をはじめとする金属材料から非常に硬いセラミックス材料の硬さ測定方法として幅広く用いられています。

本装置では、X-Y 電動ステージを PC 制御することで、試験片平面上の硬さ分布の調査を行うことができます。例えば、熱処理の硬化層深さや溶接における熱影響の調査を行う際に役立ちます。

[型式]

株式会社フューチャテック FV810ARS 型

[仕様]

- ・試験力: 9.807N、19.61N、29.42N、49.03N、98.07N、196.1N、394.2N、490.3N
- ・対物レンズ: ×5、×10、×20
- ・接眼レンズ: ×10
- ・試料台: X-Y 電動ステージ (X50mm、Y50mm)
- ・PC 制御による自動負荷、半自動圧痕計測が可能。



大型振動試験機

試料を加振する装置であり、以下のような試験を実施するために使用されます。

- ・製品の使用環境下で発生する振動に耐えて、その性能を発揮できるかどうかの確認
- ・製品の輸送時に、製品およびパッケージが故障や破損しないかどうかの確認

[型式]

IMV 株式会社 i240/SA3M、Syn-3HA-40

[仕様]

○加振機

- ・加振方向: 垂直、水平
- ・加振方法: 正弦波、ランダム波、ショック波、SOR 波、ROR 波
- ・振動数範囲: 0~2600Hz (水平加振台使用時: 最大 2000Hz)
- ・最大搭載量: 400kg
- ・最大変位: 51mmp-p
- ・加振力: 正弦波 24kN、ランダム波 24kNrms、ショック波 48kN

○恒温恒湿槽

- ・槽内寸法 1,000×1,000×1,000mm
- ・温度範囲 -40~+150°C
- ・湿度範囲 20~95%

